



のうねっ子だより



第 6 号 令和 5 年 6 月 5 日 (月)

長畝小のグラウンドの芝生（しばふ）のこと～全校朝礼のお話より～

のうねっ子が、運動会の練習をしていた時のことです。2人のお客さんがやってきました。熱心に芝生をご覧になっているので、たずねてみると、当時、長畝小のグラウンドの芝生を植えた会社の方でした。2人のうち、1人は、大阪から来られた芝の専門家の方でした。「長畝小のグラウンドの芝生が、どうなっているか見に来たのです。」そう言われるので、「どうですか?」とお聞きしました。「21年たってもこんなに育っている。とてもすごいです!」

「すごいです、何がすごいのですか?」と聞きました。すると、長畝小のグラウンドがすごい理由をやさしく教えてくれました。

長畝小学校は、福井県で初めてグラウンドに芝生を植えた学校で、当時は、とてもめずらしいことだったそうです。

その時、2つの種類の芝を植えたそうです。一方は、日本芝です。色がうすめで、葉っぱが太めです。そして、栄養がなくても育つ芝です。公園などに植えられています。もう一方は西洋芝です。葉っぱが細めで、たくさん栄養をほしがる芝です。長畝小学校のグラウンドには、2つの性質の違う芝が、植えられましたが、21年間、どちらの芝が枯れることもなく、2つの芝が、仲良くバランスよく生えているそうです。

今、そういう時は生えやすい雑草は、他の草花を生かすために、草むしりでおしらされてしまう草です。芝生に雑草が生えると雑草は強いので、たくさん生えてしまい、芝生も雑草にやられてしまうことがあります。長畝小のグラウンドには、すずめのかたびらもたくさん生えています。表面の草は、長いので切りますが、根は切りません。

このすずめのかたびらが、冬の芝生を守る時もあるそうです。2つの種類の芝、そしてすずめのかたびら。この3つが、とても仲良く生えているからこそ、21年間も、よい状態を保っているのだそうです。

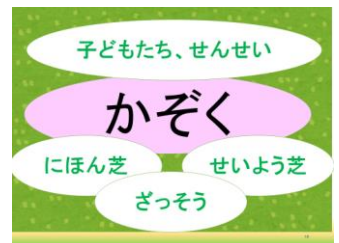
休み時間に、のうねっ子が、芝生の上で、遊んだり、ねっころがったりする姿を見て、2人のお客さんたちは、とても感動していました。そして、「長畝小の子どもたちは、本当に幸せですね。」と言って、お帰りになりました。

そのあとで、思いました。幸せなのは、長畝小の子どもたちだけじゃないと。長畝小のグラウンドの芝生だって、幸せです。芝生は、生きています。いやなことやつらいこと見たり聞いたりすると、芝生も枯れてしまいます。

芝生は、のうねっ子が、仲良く遊んだり、やさしい言葉を交わしたりする様子を見たり、聞いたりすることで、元気な芝生に成長していきます。

のうねっ子が、やさしい心で遊んでいるから、長畝小のグラウンドは元気になるのです。

長畝小学校は、芝生もすずめのかたびらも子どもたちも、みんな幸せ、1つの大きな家族なのだと思います。今度、2人のお客さんに会うことがあったら、そう伝えたいと思います。



芝生を支えてくれている人たちがいます。

夏の芝生は水分がたくさん必要です。夏休みには、毎日朝と夕方に、水やりを欠かさずしてくださっている方々がいます。

長畝小PTA執行委員会の方々と、スポーツ少年団の方々、のうねの郷協の方々です。ありがとうございます!今年もどうぞよろしく願いいたします。